

『時事直言』 No.1809 2026年6月8日 国会議員号

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313 [mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019) [instagram] [t.masuda2026](https://www.instagram.com/t.masuda2026)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

小冊子 Vol.159 「迫りくる日本の危機」

- * 習近平、プーチン、金正恩の3人とトランプの腹の内
- * 2027年朝鮮戦争、台湾有事同時発生
- * 「貧乏籤(くじ)」を引かされた高市早苗
- * 日本は急いで核装備をしないと東京が火の海になる
- * 遠のく日本の理想

上記の内容の小冊子を執筆中である。

トランプ、習近平、プーチンと金正恩が何を狙い、何を何時実行しようとしているのかについて、私自身がご本人だったらどうするかを、三人を取り巻く現実に基づいて考えてみた。

私は、今は亡き船井幸雄先生から If I were you (もし私があなただったら)のように、私が相手や第三者になりきる術と世界を見下ろす宇宙遊泳術を教わった。

他人になりきるには他人について出来る限りの事実を知らなくてはならない。

AI が知り得るすべての「事実」の上に私の「心」を加えることにより 99%他人になることが出来る。

1%は他人の肉体になれない部分であるが、大したことはない。

今分かっていることは、2027年中に朝鮮戦争が再発、中国の台湾軍事進攻がほぼ同時に起きることである。

トランプは年内3回にわたる習近平との会談で、米中戦略的パートナーシップ条約に向かうので、従来の台湾への軍事関与が難しくなり、その責任は台湾有事は日本の有事と宣言をしている日本に押し付けられる。

日本は 2027年までに自衛隊に敵基地先制攻撃能力を持たすと同時に、台湾に近い諸島にトマホーク配備を完了する。

習近平主導によるプーチン、金正恩体制の最終的攻撃相手は日本であることを知らねばならない。

これは私の妄想ではない！現実である！

中国は高市を、日本を軍国主義化していると、ことある毎に非難するが、内心は「高市は飛んで火にいる夏の虫」と喜んでいる。

単細胞だがそれだけに危険なトランプと政治力学に長けた権謀術数三人組を前にして高市早苗に何が出来るのか。

今回の「小冊子 Vol.159」、日本の為に乞う熟読。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。